

藤中学校 京都応援プロジェクト 「届け、京都へ。」



コロナ禍でも、できることを

新型コロナウイルスの感染拡大は、皆さんの暮らしに大きな影響を及ぼし、残念ながら今現在もコロナは終息することなく、感染は続いています。

市内の小中学校では、学校の休校や、様々な行事の中止・延期、部活動の制限など、学校生活が大きく様変わりし、児童・生徒たちのストレスによる心身への影響が懸念されています。

そのような中、藤中学校の生徒たちは、延期となってしまった修学旅行の事前学習をきっかけに、観光客の激減で厳しい状況が続く「京都」を応援しようと、プロジェクトを立ち上げました。

このプロジェクトは、日本を代



※ 作業中に会話をしないことをお願いし、マスクを外して撮影させていただきました



放課後に「しおりの制作」や「メッセージカードの貼付」、「ポスターの制作」などを分担し、連携して作業を進める実行委員や有志の生徒たち。

表する伝統と観光の街である京都へ思いを届けるとともに、京都を訪れた方々が温かい気持ちになり、日本の誇りである『おもてなしの心』を感じてもらおう助けになるよう始めました。

生徒たちは、総合的な学習の時間や放課後などの時間を使って、「折り紙や和紙で作った日本人形のしおり」（2000個）や、「メッセージカード」、「ポスター」を制作し、京都に送付しました。送った「しおり」は、京都市産業観光局を通じて、京都市内の土産物屋や観光施設などで、お着き菓子のような「おまけ」として、無料で配布していただいています。

「しおり」の裏には、生徒たちが書いたメッセージと、藤中学校への連絡先（QRコード）が貼付されており、「しおり」を受け取った観光客の皆さんからのメッセージや、思い出話、写真をメールで送付でき、生徒たちと共有できるようになっています。

今回の特集は、コロナの影響で自分自身も苦しい状況にありながら、前向きに取り組む生徒たちを追いました。



頑張っている人に感謝を。

修学旅行に限らず、私たちが楽しみにしていた様々な学校行事が縮小されたりして、とても

悲しいです。早くコロナが終息して、苦しむ人たちが少なくなっ
てほしいです。素晴らしい京都の
魅力を、もっとたくさんの人に
知って欲しいと思い、このプロ
ジェクトに参加しました。修学
旅行では、京都の人たちの温
かさ、コロナを早く終息させる
ために頑張っている人の気持ち
などを感じたいです。そして、
これからも自分の出来ることを
やっていき、京都の人たちへ感
謝を伝えたいと思っています！



みんなを笑顔にしたい。

コロナ禍で今感じていること
は、常にマスクをしないとけれ
ない状況なので、写真を撮りたい

ときなど、マスクを取って表情
を出すことが出来ないことがと
ても残念です。修学旅行の事前
学習では、京都のお寺などを調
べて、より深く歴史に触れるこ
とが出来ました。今とは全く違
う文化がとても素晴らしいと思
いました。「しおり」は、自分で
いろいろと細かいところをアレ
ンジしながら、作ってみました。
私たちが作った「しおり」やポ
スターで、一人でも多くの人た
ちに笑顔になってもらいたいです！

藤中学校京都応援プロジェクト 実行委員11人の声

※ 生徒たちへは、3月10日にインタビューしています



伝統文化に触れたい。

修学旅行が延期になってしま
って感じていることは、2年生の
班で行けたら、より良かったか

なと思いました。3年生での班と
なると、進級によるクラス替え
をして、すぐに修学旅行に行く
ことになってしまうので。私は、
京都の昔ながらの文化や良さを、
たくさんの人に知ってもらえたら
と思い、このプロジェクトに参加
しました。京都に行ったら、美
味しい京都料理を食べたいです。
あと、八ツ橋も。私たちの知ら
ない、脈々と続いてきた京都の
伝統文化に直接触れることがで
きるのを楽しみにしています。



心から思いを込めて。

私たちに出来ることは、小さ
くて少しのことかもしれませんが、
みんなで心から思いを込め

て行ったことが、少しでも京都
の助けになれたらいいと思いま
す。今の京都には、コロナ前の
ような明るくて、にぎやかな景
色が無くなってきていると思い
ます。少しずつでも今までのよ
うな歴史のある素晴らしい京都
に戻ってほしいです。事前学習
や美術鑑賞の授業で、たくさん
のことを学んだので、京都にし
かないものを見たいです。私
たちが作った「しおり」とポス
ターも、現地で見てみたいです。



修学旅行に絶対行きたい。

コロナの影響で、いろいろな
ことが延期や中止になり、みな
の楽しみが奪われてしまって、す

ごく悔しいです。思うように外
に出ることが出来ず、友達と遊
ぶことも制限され、あまり楽し
くない日が続いています。テレビ
をつけるとコロナの怖いことば
かりで、見ても楽しくなくな
りました。京都では、友達と美
味しいものを食べたり、金閣寺
や清水寺に行って、楽しい思い
づくりをしたいです。修学旅行
には絶対に行きたいので、これ
からもコロナに感染しないよう、
しっかりと対策を続けていきます！



京都の街に笑顔を。

私たち中学生が出来ることは
限られていますが、少しでも京
都の街に笑顔を増やすお手伝

ができればと考えて、このプロ
ジェクトに参加しました。この
プロジェクトを通して、観光客
の方々に少しでも元気になって
もらいたいと思っています。「し
おり」やメッセージを見て、皆
さんが笑顔になってくれたらう
れいす。京都の写真を初めて
見た時の印象は、「歴史的で素敵
な街だな」と思いました。実際
に行ってみるのがとても楽しみ
です。私は、世界遺産に登録さ
れている龍安寺に行きたいです。

京都市産業観光局観光MICE推進室

ふじおかしんすけ
宿泊環境整備課長 藤岡伸亮さんの声

今の京都は、どのような状況なのでしょう
か？

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、観光需要が激減し、京都観光はかつて経験したことがない危機的な状況です。また、宿泊・飲食業などの観光事業者のみならず、関連する産業や文化、芸術の関係者などに与えた影響も甚大で、観光がいかに京都の経済や雇用、地域文化を支えていたかを改めて認識しています。

藤中の取組を聞いたときに、どう思いましたか？

京都観光が危機的な状況にある中で、生徒の皆さまの京都を応援する取組に大変感謝しております。また、先生方におかれましては、修学旅行を楽しみにしていた生徒の皆さまのお気持ちに寄り添いながら、今回のお取組をご検討いただいたものと存じます。「しおり」や「ポスター」を直接ご覧になって、どう感じましたか？

心を込めて一つ一つ手作りしていただいた「しおり」の人形は、どれも大変可愛らしく、観光客の方々にも喜んでいただけることと思います。また、「しおり」を見る度に京都での思い出とともに、藤中学校の生徒の皆さまの温かい心遣いを感じていただければと思います。

藤中の生徒たちへメッセージをお願いします

改めて、この度は総合的な学習の時間を通して、京都市の観光事業の振興に御協力を賜り、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の影響で、かけがえのない思い出となるはずの京都への修学旅行が延期となり、残念な気持ちでおられる方も多いと思います。修学旅行に向けて皆さんは、マスクの着用、手洗いなどの感染予防対策と健康管理に、日々、取り組んでこられたことでしょう。しかし、皆さんの努力は決して無駄ではありません。一人ひとりが出来ることをきちんと実践し、思いを一つに、この局面を乗り越えましょう。皆さんが様々な困難に負けず、これからも充実した学校生活を過ごされますよう、切に願っております。

市内すべての中学生たちへメッセージをお願いします

京都への修学旅行は、皆さんがこれまで学んでこられた歴史上の出来事や文学の世界に触れ、京都に息づく日本の伝統、文化を肌で感じていただく機会となり、これからの人生の素晴らしい宝となることでしょう。日の光の中で山は紫にかすみ、川は澄みきって美しい「山紫水明」の京都は、いつでも皆さんをお待ちしています。

鶴ヶ島市民の皆さんへメッセージをお願いします

京都市は、ウィズコロナ社会において、徹底した感染症拡大防止と経済活動の両立に取り組み、安心・安全が確保され、市民の豊かさにも貢献する「新しい観光スタイル」を推進しています。新型コロナウイルス感染症が長期化していますが、状況が落ち着きましたら、ぜひ京都へお越しください。

『おもてなしの心』で皆さまのお越しをお待ちしています。



東映太秦映画村の皆さん



西陣織会館の皆さん



丸益西村屋でのしおり配布



京都鉄道博物館でのしおり配布



延期を前向きに。

クラス替えをしてから修学旅行に行くことになってしまったことは残念ですが、新しいメンバ

ーと行くことを、とても楽しみにしています。最初のスケジュールどおりに修学旅行に行っていたら、あまり京都を知らないままだったと思います。少し遅くなったことで、京都についてもっと知ることができましたし、理解が深まりました。このプロジェクトに参加したこともあり、より京都を楽しめるようになったと思います。いろいろな神社を回ったり、可愛いスイーツを食べることを楽しみにしています！



交流のきっかけに。

事前学習で学んだことは、京都が残す日本の伝統と、技術の高さです。京都には、木造の建

物だったり、仏像、彫刻、絵画など、たくさんの素晴らしい作品が残されていて、その細かさや、伝統的な色の合わせ方は、日本しかできない技術だと思います。今回の私たちの「しおり」をきっかけに、外国の方なども含めた多くの観光客の皆さんと交流を増やして、お互い良い関係を築いてもらいたいです。私は、伏見稲荷大社の赤く奇麗な鳥居が並んでいる景色などを見て、京都の伝統に触れたいです。



みんなの気持ちが集まった。

コロナ禍で、いろいろなことが制限されて息苦しいけれど、こういったときにこそ、人びとの助

け合いの心を感じられています。このプロジェクトとの関わりもそうだと思います。京都は、日本の美を感じられる街並みが素晴らしいです。私たちが作った「しおり」やポスターを見た観光客の皆さんが、「また京都にきたい」「来て良かった」と思っただけならうれしいです。自分は運営が中心だったため、「しおり」をあまり作れなかったけれど、みんなが頑張って作ったものを集めたら、すごい量で驚きました。



たくさんの人に。

事前学習では、インターネットや雑誌を使って、修学旅行で訪れたい場所を調べました。京

都の歴史、その建物がどんな意味を持っているのかを学ぶことができました。京都に行きたいと思う気持ちが、更に強くなりました。気持ちを込めて作った「しおり」が、たくさんの人の手に渡り、皆さんが京都の思い出を、私たちと共有したいと思ってほしいです。生徒からのメッセージも書いてあるので、ぜひ読んでください。藤中の取り組みを、いろいろな人たちに知ってもらえたら、うれしいです。

5月下旬に実施を予定していた修学旅行は、見送られることとなりました。